

総務・企業常任委員会 県内行政調査

1 調 査 日 平成25年11月22日（金）

2 調査の概要

（１） 湖南広域消防局東消防署・野洲市総合防災センター（野洲市）

湖南広域消防局東消防署および野洲市総合防災センターについては、東消防署の移転新築に伴い、市民の防災拠点の整備を図るため、野洲市と湖南広域行政組合が主体となり、平成24年6月から合築整備が進められ、平成25年10月1日に竣工式・開署式が行われ、同日より業務が開始された。

湖南広域消防局東消防署は、大規模災害を想定した緊急援助隊の受入施設として位置付けられ、緊急用ヘリポート機能の整備や、高層建築物での火災発生を想定した大型訓練塔などの整備が行われ、野洲市総合防災センターは、自主防災組織や消防団等との密接な連携を図るため災害対策本部の設置スペースや自主防災組織等の研修強化を図れるスペースの確保などが行われ、また、消防署との一体的な活動を行えるなど従来の分離独立系では実現しえなかった情報伝達の確実性や即時性にも対応できる施設となっている。

こうしたことから、湖南広域消防局東消防署および野洲市総合防災センターの施設や業務の概要について調査を行った。

また、当該調査においては、県内の消防団長の皆さんに来ていただいて消防団の現状や課題等について意見交換を行った。

消防団長の皆さんからは、消防団員の高齢化や団員の確保が課題であり、新たな団員の確保を図るため、消防団をPRしたり、消防団員確保実行委員会を設置して取り組みを推進していること、などについて陳述をいただきました。

